



シラバス参照

タイトル「2020年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	スタートアップセミナー		
担当教員	福富 靖之		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:M
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
備考			
特修プログラム		ナンバリング	g1110010
教育目標との関係 (DPポイント配分)	基盤教育 基盤教育	最新の専門知識及び技術	50 %
		本質を見極めるための教養と学際性	20 %
		協働的な問題探究	30 %
		社会の改善につなげる創造性	0 %
		市民としての主体的態度	0 %
授業方法	<input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実験 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> ICT機器の活用		
授業概要とねらい	大学生としてどの学問領域を専攻するにしても必要となるレポートを書く技術や口頭発表をする技術を、履修者がお互いから学び合い(ピア・ラーニング)身につけることを目的としています。また、主たる目的ではありませんが、活動を通じて外国語を学ぶ意義を考えていきます。		
単位認定基準	1. 基礎的な文献の読み方が身についている。 2. 発表の仕方、討論の仕方、レポートの書き方が身についている。 3. 集団の中で、協同して課題に取り組むことができる。		
授業計画	<p>この授業では、例えば英語に「しりとり」に対応することば遊びはあるか？など日本語と英語の比較をしながら、自分たちでことばに関する資料を集め、さらに集めた資料に基づいて議論を組み立てていきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. レポートの形・目的を知る 3. 論証の仕方を知る 4. データを集める 5. 文献・資料を検索する 6. 仮説を立て、検証する 7. アウトラインを作る 8. アウトラインを再検討する 9. パラグラフを書く 10. 本文を整える 11. 引用の仕方を知る 12. 表現・形式を点検し、原稿を仕上げる 13. 発表を準備する 14. 口頭発表をする1 15. 口頭発表をする2・授業のまとめ <p>ただし、図書館オリエンテーション、メンタルヘルスオリエンテーションが随時行われるため、授業の進捗が変更される場合があります。 5月の土曜日に、新入生学外研修としてJICA二本松を訪問しますので、予定しておいて下さい。詳細は第1回目の授業の際に説明します。</p>		
教材・教科書	プリントを使用します。		
参考図書			
参考URL			

授業以外の学習	上記授業計画に沿って、毎週個人課題またはグループ課題を出しますので、その準備をすることが求められます。
成績評価の方法	単位認定基準の3つの項目について、以下の評価方法によって成績評価を行います。 グループ課題:20% 口頭発表:40% レポート:40%
成績評価の基準	S: 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた(90~100点) A: 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた(80~89点) B: 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた(70~79点) C: 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた(60~69点) F: 単位認定基準の学修成果をあげられなかった(~59点)
オフィスアワー	木曜日 昼休み(12:00~13:00) スタートアップセミナーの担当者は同時にみなさんの「アドバイザー教員」でもあります。学習に関すること以外でも相談に応じます。
授業改善・工夫	受講生の理解に応じた授業計画や進度に適宜変更する。
留意点・注意事項	
教員の実務経験の有無	

